



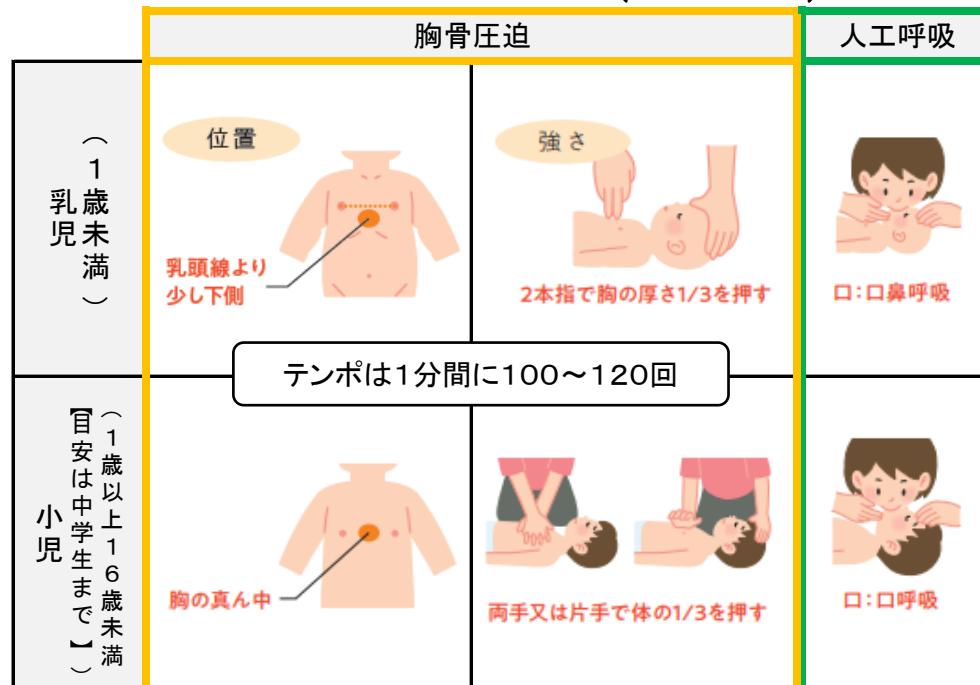
子どもへの心肺蘇生とAED



心肺蘇生

- ・子どもへの心肺蘇生やAEDの流れは基本的に大人と一緒にです。
体が小さいため胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方にポイントがあります。
- 1. 安全を確認する
- 2. 反応を確認する
※乳児の場合は足の裏を叩いて刺激して、反応を確認する
- 3. 119番通報する(すぐ近くにAEDがあれば手配する)
- 4. 普段通りの呼吸があるかの確認
- 5. 胸骨圧迫
- 6. 人工呼吸
※小児、乳児の心肺停止は特に、胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせが望ましい。

30回 ← 繰り返す → 2回



AED

- ・AEDは全ての年齢で使用できます。
子どもに対してAEDを使うときは、次の3点に注意してください。

①パッド・モードの種類と対象

パッド・モード 倒れた人	未就学児用 (旧: 小児用)	小学生～大人用 (旧: 成人用)
未就学児	◎(推奨)	○(可)
小学生～大人	×(不可)	◎(推奨)

②モードの切り替え方法

パッド以外にスイッチで切り替える方法とキー(鍵)を差し込んで切り替える方法があります。



③子どもは体が小さいので、図のようにパッドが重ならないように貼り付けるなど工夫が必要です。

